

34103 救急・へき地医療体制の整備

(主担当:保健衛生室 健康増進課)

主な取組内容

1. 地域住民の救急医療を確保するため、伊賀管内の一次救急、二次救急および救命救急医療体制の整備を行います。
2. 救急告示医療機関との連携を図ります。

1 地域救急医療対策事業

伊賀地域内の休日または夜間における急病患者を含む救急医療体制の充実強化を図るため、関係機関等が地域の実情に即応した体制の整備等について協議し、その積極的な推進を図り、地域における救急医療体制及び健康危機管理体制の確保を図るため、協議会等を開催した。

(1)伊賀地域メディカルコントロール協議会

- ア 開催日時 平成18年6月1日(木)
- イ 開催場所 伊賀庁舎1階 衛生教育室
- ウ 出席者数 7名

(2)伊賀地域健康危機管理ネットワーク会議

- ア 開催日時 平成19年2月13日(火)
- イ 開催場所 伊賀庁舎3階 中会議室
- ウ 出席者数 13名



(3)伊賀地域の救急医療体制に関する意見交換会

- ア 開催日時 平成18年6月22日、7月6日、9月15日、10月2日
平成19年1月23日、2月21日 計6回
- イ 開催場所 伊賀庁舎1階衛生教育室 他
- ウ 出席者数 延べ126名

2 救急告示病院

救急告示病院は、地域における救急業務の対象となる傷病者の発生状況等を勘案して認定する。

(1) 伊賀地域救急告示病院

平成19年4月1日現在

名称	郵便番号	住所	電話番号	ファックス番号
伊賀市立上野総合市民病院	518-0823	伊賀市四十九町831	24-1111	24-2268
医療法人 岡波総合病院	518-0842	伊賀市上野桑町1734	21-3135	21-5237
医療法人 森川病院	518-0854	伊賀市上野忍町2516の7	21-2425	24-2815
名張市立病院	518-0481	名張市百合が丘西1番町178	61-1100	64-7999

342 多様化する疾病への対応

34202 難病患者等の支援

(主担当:保健衛生室 地域保健課)

主な取組内容

- 1 原子爆弾被爆者の健康管理や各種手当の支給等を実施します。
- 2 難病患者およびその家族のQOL(生活の質)の向上をはかります。

1 原子爆弾被爆者対策事業

原子爆弾被爆者の援護に関する法律により、被爆者健康手帳所持者の健康管理のため、毎年2回の定期健康診断及び希望者に対してがん検診を実施した。
また、同法に基づく各種手当を対象者に支給した。

(1)被爆者健康手帳所持者 77人 平成19年3月31日現在

	伊賀市	名張市
所持者数	33	44

(2)被爆者健康診断受診状況

ア 定期健康診断受診者数

第1回 39人 (内要精検者数 17人)

第2回 38人 (内要精検者数 15人)

イ がん検診受診者数

平成19年3月31日現在

	胃がん	肺がん	乳がん	子宮がん	多発性 骨髄腫	大腸がん
受診者数	5	4	1	1	2	4
要精検者数	0	0	0	0	0	0

(3)各種手当受給状況

平成19年3月31日現在

	医療 特別 手当	健康管理 手当	保健手当 (一般)	保健手当 (増額)	介護手当	家族介護 手当	葬祭料
支給対象者数	1	70	0	1	1	7	1

2 難病対策事業

(1) 特定疾患治療研究事業

特定疾患として指定された45疾患について、医療費を助成し、治療の促進を図るため、申請により特定疾患医療受給者証を交付した。また、症状が改善され、経過観察等一定の通院管理のもとで、著しい制限を受けることなく就労を含む日常生活を営むことができる方には特定疾患登録者証を交付した。

特定疾患医療受給者数

平成19年3月31日現在

疾患名		男	女	合計
総計		341	491	832
1	ベーチェット病	11	7	18
2	多発性硬化症	4	15	19
3	重症筋無力症	6	13	19
4	全身性エリテマトーデス	9	50	59
5	スモン	1	1	2
6	再生不良性貧血	10	5	15
7	サルコイドーシス	6	8	14
8	筋萎縮性側索硬化症	8	7	15
9	強皮症、皮膚筋炎又は多発性筋炎	16	58	74
10	特発性血小板減少性紫斑病	8	24	32
11	結節性動脈周囲炎	4	8	12
12	潰瘍性大腸炎	43	55	98
13	大動脈炎症候群	1	7	8
14	ビュルガー病	14	0	14
15	天疱瘡	4	3	7
16	脊髄小脳変性症	11	18	29
17	クローン病	21	11	32
18	難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0	0	0
19	悪性関節リウマチ	0	4	4
20	パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	52	84	136
21	アミロイドーシス	0	1	1
22	後縦靭帯骨化症	27	11	38
23	ハンチントン舞蹈病	0	0	0
24	モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	3	9	12
25	ウェゲナー肉芽腫症	1	0	1
26	特発性拡張型(うっ血型)心筋症	27	7	34
27	多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	12	5	17
28	表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	0	0	0
29	膿疱性乾癬	0	1	1
30	広範脊柱管狭窄症	13	13	26
31	原発性胆汁性肝硬変	3	27	30
32	重症急性膵炎	0	2	2
33	特発性大腿骨頭壊死症	9	3	12
34	混合性結合組織病	1	10	11
35	原発性免疫不全症候群	1	0	1
36	特発性間質性肺炎	2	3	5
37	網膜色素変性症	12	18	30
38	プリオン病	0	0	0
39	原発性肺高血圧症	0	1	1
40	神経線維腫症	1	0	1
41	亜急性硬化性全脳炎	0	0	0
42	バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0	0	0
43	特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	0	2	2
44	ライソゾーム病	0	0	0
45	副腎皮質ジストロフィー	0	0	0

(2) 特定疾患登録者数

平成18年度中に登録された人数

疾患名		男	女	合計
総計		6	8	14
1	(1)ベーチェット病	0	0	0
2	(3)重症筋無力症	0	0	0
3	(4)全身性エリテマトーデス	0	0	0
4	(6)再生不良性貧血	0	0	0
5	(7)サルコイドーシス	1	1	2
6	(9)強皮症、皮膚筋炎又は多発性筋炎	0	0	0
7	(10)特発性血小板減少性紫斑病	1	0	1
8	(11)結節性動脈周囲炎	0	0	0
9	(12)潰瘍性大腸炎	0	1	1
10	(13)大動脈炎症候群	0	0	0
11	(14)ビュルガー病	0	0	0
12	(15)天疱瘡	0	0	0
13	(17)クローン病	0	0	0
14	(19)悪性関節リウマチ	0	0	0
15	(22)後縦靭帯骨化症	2	4	6
16	(24)モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	0	1	1
17	(25)ウェゲナー肉芽腫症	0	0	0
18	(28)表皮水泡症(接合部型及び栄養障害型)	0	0	0
19	(29)膿疱性乾癬	0	0	0
20	(30)広範脊柱管狭窄症	0	0	0
21	(33)特発性大腿骨頭壊死症	2	1	3
22	(34)混合性結合組織病	0	0	0
23	(36)特発性間質性肺炎	0	0	0
24	(42)バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0	0	0

(3) 先天性血液凝固因子障害等治療研究事業

先天性血液凝固因子欠乏症として指定された11疾患について、医療費を助成し、治療の促進を図るため、申請により先天性血液凝固因子障害等医療受給者証を交付した。

平成19年3月31日現在

疾患名		受給者証 交付件数
1	第Ⅰ因子(フィブリノゲン)欠乏症	0
2	第Ⅱ因子(プロトロンビン)欠乏症	0
3	第Ⅴ因子(不安定因子)欠乏症	0
4	第Ⅶ因子(安定因子)欠乏症	0
5	第Ⅷ因子欠乏症(血友病A)	0
6	第Ⅸ因子欠乏症(血友病B)	1
7	第Ⅹ因子(スチュアートプラウア因子)欠乏症	0
8	第ⅩⅢ因子(フィブリン安定化因子)欠乏症	0
9	Von Willebrand(フォン・ヴィルブランド)病	1
10	第ⅩⅠ因子(PTA)欠乏症	0
11	第ⅩⅡ因子(ヘイグマン因子)欠乏症	0

3 難病在宅ケア事業

(1) 事業目的

管内における患者の実態を明らかにし、在宅ケアを支えるための医療・保健・福祉を包括した援助体制づくりを推進する。

(2) 事業名

難病患者の在宅療養支援体制の構築

(3) 事業対象

管内に在住の難病患者及びその家族。

(4) 事業の選定理由

管内における特定疾患医療受給者数は、年々増加する傾向にある。

難病は、原因不明・予後不良の疾患で、治療法が未確立・経過が長期にわたるものがほとんどであり、患者及び家族は、身体的・精神的・経済的等のさまざまな問題を抱えていることが予測される。そこで、当保健福祉事務所では、平成8年度から管内における難病対策として、所内面接・家庭訪問・関係機関との連絡会議を開始し、現在まで継続している。

今年度も昨年度に引き続き、個別ケアを中心とした支援活動を充実させながら、保健・医療・福祉の連携を深め、さまざまな症例を地域で支えていけるようなネットワークづくりを行っていく必要がある。

(5) 事業内容

ア 在宅患者支援システムの構築

関係機関との連携を深め、地域に根ざしたネットワークづくりを実践することを目的に会議等を開催した。

(ア) 難病担当者連携会議の開催

回数	開催日	会議内容	参加者
1	H18.12.15 (金)	・退院後の療養計画及び介護保険のサービス導入について ・今後のレスパイト入院のあり方について	主治医・看護師・ケアマネジャー・保健福祉事務所保健師
2	H19.2.26 (月)	・ALSの疾患理解及び病状の進行について ・在宅療養ケアの課題と改善策について	医師・難病医療専門員・ケアマネジャー・ヘルパー・市保健師・保健福祉事務所保健師

イ 個別ケアの充実

(ア) 特定疾患医療受給者証交付申請時における所内面接

申請者の中でも、疾患の理解・治療・予後等を含め一番不安の強い時期であると予測される新規申請者(主に神経難病患者)に対して、面接により医療や生活面等の相談に応じるよう努めた。なお、平成18年度 of 主な神経難病の新規申請者数は次のとおりである。

平成19年3月31日現在

疾患番号	疾患名	新規受給者数
(1)	ベーチェット病	2人
(2)	多発性硬化症	2人
(3)	重症筋無力症	1人
(8)	筋萎縮性側索硬化症	4人
(16)	脊髄小脳変性症	3人
(20)	パーキンソン病関連疾患	20人
(27)	多系統萎縮症	3人

(イ) 家庭訪問

「申請時面接にて訪問支援が必要と判断したケース」「患者家族から相談依頼があったケース」「他機関から紹介を受けたケース」等、必要と判断されるケースに訪問を実施した。また、訪問延べ件数は年間21件で、その内訳は以下のとおりであった。

疾患別訪問実施状況

平成19年3月31日現在

疾患群	疾患名	延べ件数
神経系疾患	筋萎縮性側索硬化症(ALS)	11件
	脊髄小脳変性症	2件
	多系統萎縮症	1件
	パーキンソン病	2件
その他の疾患	特発性血小板減少性紫斑病	2件
	スモン	1件
合計		21件

(ウ) 電話相談・面接相談

在宅療養をするにあたっての相談の他、特定疾患申請手続き等に関する相談が多かった。

平成19年3月31日現在

手段	相談内容	延べ件数
電話相談	療養相談、制度等	642件
	関係機関との連絡調整	323件
	合計	965件
面接相談	新規申請に関すること	148件
	療養相談等に関すること	90件
	合計	238件

ウ 在宅医療・介護相談事業

(ア) 難病療養相談

管内は山間部で専門的な医療機関に恵まれない地理的状况にあるため、専門医等の相談を希望していても相談の機会がもてない患者と家族に対して、療養生活が適切に行われるよう医療・福祉・栄養等の総合的な相談の場を提供することを目的に、難病療養相談を実施した。その実施状況は以下のとおりである。

実施月日	平成18年8月6日	平成19年3月12日
場所	伊賀庁舎 大会議室	伊賀庁舎 1階
内容	医療相談・就労相談・生活相談	医療相談・福祉相談・栄養相談・リハビリ相談・看護(生活)相談
スタッフ	<ul style="list-style-type: none"> 寺田病院医師、上野総合市民病院医師、吉住小児科医師 各1名 三重労働局職業安定部障害者雇用担当官1名 難病医療専門員 1名 難病相談員 4名 保健福祉事務所: 保健師 	<ul style="list-style-type: none"> 三重大学医学部附属病院神経内科医師 1名 居宅介護支援センターケアマネージャー1名 伊賀市障害者支援センター相談支援専門員1名 名張市立病院理学療法士 1名 難病医療専門員 1名 保健福祉事務所: 管理栄養士・保健師
来所者	膠原病・リウマチ・脊髄小脳変性症等の患者・家族	神経難病の患者・家族
相談件数	45件 ※難病相談支援センター主催	医療相談 8件 福祉相談(介護) 5件・福祉相談(身障) 6件 栄養相談 6件 リハビリ相談 6件 看護(生活)相談 4件

(イ) 訪問療養相談

在宅で寝たきり状態であるために、長期間にわたり専門医の診察をはじめ、福祉サービス利用・栄養相談等療養上の相談を受けに行くことができない「重症申請認定患者及び家族」等に対し、療養生活が適切に行われるよう、医療・福祉・栄養面での総合的な相談に応じる機会を提供した。

実施月日	平成19年2月26日
場所	名張市及び伊賀市のケース宅
内容	医療相談他
スタッフ	三重大学医学部附属病院神経内科医師 訪問看護ステーション看護師 ・ ケアマネージャー ・ 難病医療専門員・保健福祉事務所保健師
対象者	筋萎縮性側索硬化症 2件(1例は事例検討会開催)

エ 講演会・研修会等

(ア) 事例検討会

開催日時	内容	参加者
平成19年1月18日	・褥創の増悪防止、家族のレスパイト、各機関の役割確認	・訪問看護ステーション看護師、居宅介護支援事業所ケアマネージャー、保健福祉事務所保健師
平成19年1月23日	・褥創の増悪防止、介護者のレスパイト、介護保険サービスの	・社会福祉協議会ケアマネージャー、難病医療専門員、保健福祉事務所保健師
平成19年1月23日	・病状進行に伴う環境調整、介護保険サービスの調整	・社会福祉協議会ケアマネージャー、難病医療専門員、保健福祉事務所保健師
平成19年3月5日	・病状進行に伴う環境調整、訪問看護の導入、緊急時の対応について	・患者家族、社会福祉協議会ケアマネージャー、難病医療専門員、市保健師、保健福祉事務所保健師

(イ) 研修会等

開催日時	内容	参加者
平成18年11月15日	・講演「難病の保健・医療・福祉制度」 「難病患者の心理及び家族の理解」 ・講師：保健福祉事務所保健師	15人(ホームヘルパー1級課程又は2級課程修了者)
平成18年12月6日	・講演「難病の保健・医療・福祉制度」 「難病患者の心理及び家族の理解」 ・講師：保健福祉事務所保健師	15人(ホームヘルパー1級課程又は2級課程修了者)

オ 患者及び家族の組織育成

(ア) 患者・家族の交流会

平成17年度に難病相談支援センターが設立され、患者家族会の育成について保健福祉事務所の役割が変化する中、伊賀地域では以前にSCDの患者の集まりがあった経緯から、特にSCD三重の会(伊賀地区世話人会)の自主的な仲間づくりに向けて支援した。

SCD患者・家族の交流会開催状況

開催日・場	内容	参加者
H18.4.12 伊賀庁舎	・難病相談支援センターと世話人の位置づけについて ・伊賀地区の18年度計画について	世話人及び保健師
H18.5.25 伊賀庁舎	・7月の交流会の計画・準備について ・難病相談支援センターとの役割について確認	世話人及び保健師
H18.7.7 伊賀庁舎	・7月の交流会の詳細打ち合わせについて	世話人及び保健師
H18.7.9 伊賀庁舎	・講演「笑って元気に生きよう」 講師 日本笑い学会会員 夏地先生	患者家族26人及び保健師
H18.9.7名 張市公民館	・10月の交流会打ち合わせ①	世話人及び保健師
H18.9.14 伊賀庁舎	・10月の交流会打ち合わせ② ・今後の会運営のあり方について	世話人及び保健師
H18.10.26 伊賀庁舎	・今までの活動の振り返り ・来年度からの活動の方向性について	世話人及び保健師
H18.11.13 松阪庁舎	・SCD・パーキンソン三重の会中勢ブロック交流会 ・落語、体操、フリートーク、作品展示	患者家族35人及び保健師

34203 臓器移植・骨髄バンク等の推進

(主担当:保健衛生室 衛生指導課)

主な取組内容

1. 「愛の血液助け合い運動」をはじめとするキャンペーンに取り組み、献血思想の普及啓発等による献血の推進をはかり県内で必要な血液を確保します。
2. 休日ドナー登録をはじめとする骨髄バンク普及啓発およびドナー登録の推進をはかり、新規ドナー登録者の確保に努めます。
3. 県民に臓器移植に対する理解と協力を求めるため、啓発事業を行います。

1 献血推進

医療に必要な血液製剤をすべて自国の献血で確保する体制を早期に確立するため、献血思想の普及、献血組織の充実に努めた。特に輸血の安全性向上させる400ml献血及び成分献血への理解と協力を図っている。

また、少子高齢化の進行により献血可能人口の減少が避けられないなか、将来の献血事業を担う若年層対し、献血思想の普及啓発を推進した。管内高校(10校)を訪問し、献血の啓発とヤングミドナサポーター事業への協力を依頼した。

その結果、上野商業高校、名張高校、あけぼの学園高校、上野農業高校の4校が文化祭で啓発活動を実施し、あけぼの学園高校、上野高校、上野商業高校、名張桔梗丘高校、名張西高校、日生学園第一高校よりヤングミドナサポーターとして61名の登録があり、伊賀市、名張市の愛の助け合い運動、はたちの献血キャンペーン等で献血意識の普及啓発活動に協力いただいた。

(1)「愛の助け合い運動」の実施

期 日	場 所	申込者数	献血者数
7月10日	アピタ伊賀上野店	67名	56名
7月12日	ジャスコ新名張店	80名	67名

(2)「はたちの献血キャンペーン」の実施

期 日	場 所	申込者数	献血者数
1月14日	アピタ伊賀上野店	82名	75名
2月15日	ジャスコ新名張店	73名	57名

(3)移動採血車による市別献血状況

平成18年度実績

市町別	献血者数			
	400mL	200mL	成分献血	計
伊賀市	1,901	9	0	1,910
名張市	959	0	0	959
伊賀管内	2,860	9	0	2,869
三重県	31,926	196	0	32,122

2 骨髄バンク

白血病や再生不良性貧血など血液難病の患者にとって生への希望である骨髄バンクが円滑に実施されるよう、骨髄移植に関する正しい知識の普及啓発を行い、骨髄提供希望者登録(ドナー登録)の推進を図った。

(1)骨髄提供登録受付窓口業務

毎月第2水曜日に登録受付を実施し、平成18年度は6人の登録があった。

(2)臨時ドナー登録受付の実施

管内市における6ヶ所の献血会場にて受付を実施した結果4名の登録があった。

(3)ボランティア団体との連携

骨髄バンクを支援するボランティア団体(勇気の会伊賀支部)が毎月1回、伊賀市ふれあいプラザにおいて定例会を開催しており、保健所職員も出席している。

344 高齢者保健福祉の推進
34401 介護保険制度の円滑な推進
 (主担当:保健衛生室 企画福祉課)

主な取組内容

1. 認定調査員、介護認定審査会委員の資質向上をめざした現任研修を実施します。
2. 介護事業者に対する指定および指導を実施します。
3. 介護サービスに対する苦情処理を適切に行います。

1 介護保険制度

平成12年に創設された介護保険制度は、被保険者数、要介護認定者数、サービス受給者数共に増え続け、これらに伴ってサービスに要する費用額も増えてきた。それらを踏まえ平成18年4月に制度改正がなされた。主なポイントは、①軽度の要介護者に対して状態の改善に向けた介護予防サービスが始まった。また、地域支援事業として、要介護状態にならないための介護予防事業が始まった。②地域の中核機関として「地域包括支援センター」が創設された。また、地域の特性に応じた柔軟なサービス提供が可能となるように地域密着型サービスが創設された。③サービスの質の確保・向上を目的として介護サービス情報の公表や事業者規制、ケアマネジメントの見直しが行なわれた。④保険料や制度運営の見直しが行なわれた。

(1)実施主体数 2保険者

- ・伊賀市
- ・名張市

(2)要介護認定者の状況

平成19年4月1日現在

保険者	人口 (人)	高齢者 人口 (人)	高齢化 率(%)	要介護認定者数(人)									
				合計	要支援		経過 的 要 介 護	要介護					
					1	2		1	2	3	4	5	
伊賀市	102,550	26,071	25.4	5,424	559	1,091	0	1,071	853	690	609	551	
名張市	83,939	16,084	19.2	3,020	365	373	0	791	455	403	356	277	
合計	186,489	42,155	22.6	8,444	924	1,464	0	1,862	1,308	1,093	965	828	

(3)介護度別居宅介護サービス受給者数

平成19年4月1日現在

保険者	要支援 1	要支援 2	経過 的 要 介 護	要介 護 1	要介 護 2	要介 護 3	要介 護 4	要介 護 5	計
伊賀市	129	343	27	753	639	483	327	202	2,903
名張市	110	171	0	432	289	243	154	95	1,494
合計	239	514	27	1,185	928	726	481	297	4,397

(4)施設種別サービス受給者数

平成19年4月1日現在

保険者	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護療養型医療施設	計
伊賀市	493	312	28	833
名張市	277	211	44	532
合計	770	523	72	1,365

(5)指定居宅・施設介護支援事業者数

平成19年4月1日現在

	事業者数	備考
訪問介護	43	
訪問入浴介護	4	
訪問看護	11	
通所介護	43	
通所リハビリテーション	8	
短期入所生活介護	12	
福祉用具貸与	10	
特定福祉用具販売	10	
特定施設入所者生活介護	1	
指定介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	12	700床
介護老人保健施設 (老人保健施設)	5	498床
介護療養型医療施設 (療養型病床群)	1	40床
介護予防訪問介護	38	
介護予防訪問入浴介護	5	
介護予防訪問看護	8	
介護予防通所介護	38	
介護予防通所リハビリテーション	6	
介護予防短期入所生活介護	12	
介護予防福祉用具貸与	10	
介護予防特定福祉用具販売	10	
介護予防特定施設入所者生活介護	0	

(6)要介護認定調査員現任研修

認定調査に従事する者が要介護認定等における公平・公正かつ適切な認定調査を実施するために必要な知識、技能を修得・向上させることを目的とする。

開催日 :平成18年11月20日

参加者数:29名

- 内容 ① 講義
「要介護認定調査に期待すること」
講師 :伊賀市社会福祉協議会 福祉サービス利用支援部長
- ②グループ討議演習
「認定調査で判断に迷うことについて」

(7)介護認定審査会委員現任研修

介護認定審査委員が要介護認定等における公平・公正かつ適切な審査判定を実施するために必要な知識・技術を修得・向上させること及び介護認定審査会における審査判定の適正化を図ることを目的とする。

開催日 :平成18年10月29日

参加者数:71名

- 内容 ① 講義
「三重県の介護保険の現状及び要介護認定について」
講師 :三重県伊賀保健福祉事務所 職員
- ②「模擬審査」
講師 :伊賀市介護認定審査会会長
:名張市介護認定審査会会長

(8)介護保険審査会

要介護認定に関する審査請求については、介護保険審査会の公益代表委員3名からなる合議体において審理され、裁決が行われます。

審査請求状況

	申請年月日	審査会開催日	裁決	備考
1	平成18年6月27日			平成18年9月11日取下げ
2	平成18年8月1日	平成18年10月24日	棄却	
3	平成18年9月11日			平成18年11月22日取下げ

34402 介護基盤の整備促進

(主担当:保健衛生室 企画福祉課)

主な取組内容

- 「第4次三重県高齢者保健福祉計画・第3期三重県介護保険事業支援計画」に基づき、年度別に地域の実情を勘案して、高齢者福祉施設の整備を進めます。
- 利用者の視点に立った、質の高い高齢者福祉サービスを提供できる人材の確保と環境整備を進めます。

1 社会福祉施設の状況

平成19年4月1日現在(単位:箇所数)

	特別養護老人ホーム	介護老人保健施設	介護療養型医療施設	養護老人ホーム	老人福祉センター	特定施設入居者生活介護	老人憩の家
伊賀市	8(490床)	3(350床)	0	3	1	1	2
名張市	4(210床)	2(148床)	1(40床)	1	2	0	1
計	12(700床)	5(498床)	1(40床)	4	3	1	3